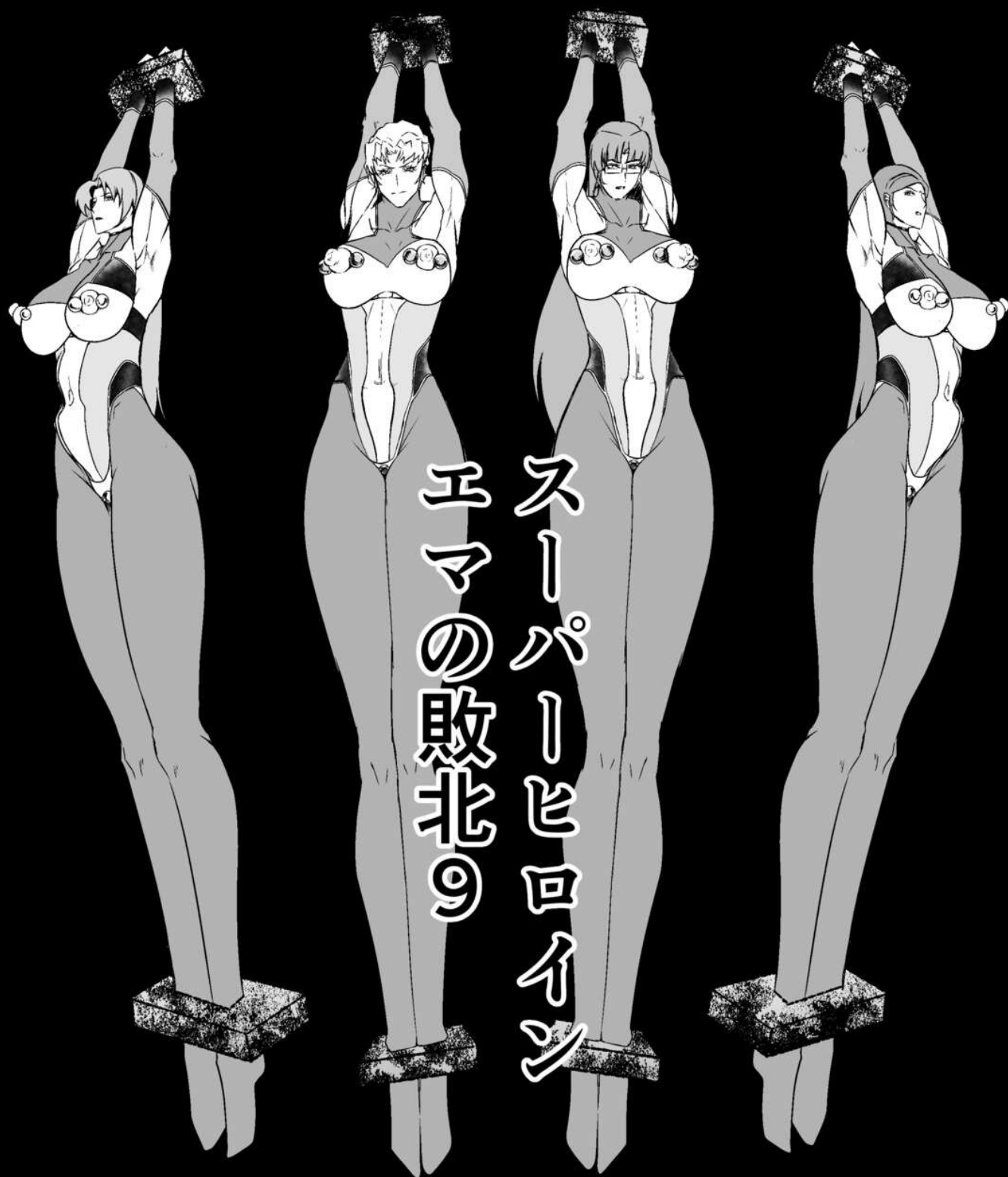
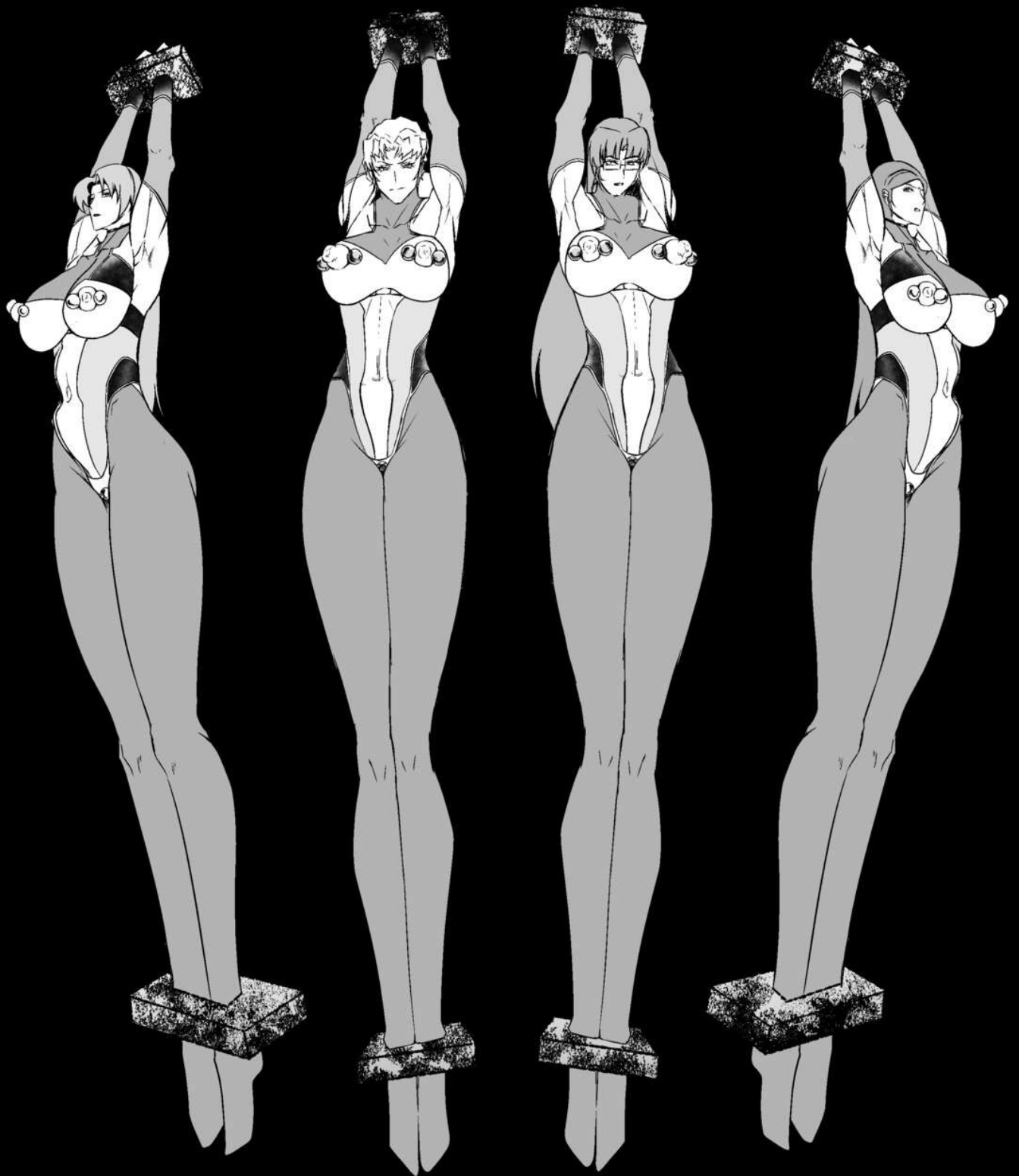








新たな支配者が誕生し
人類を護るヒーローは
用済みとなった
という事だ



エマを確認！
敵を一名
拘束しました！



隊長！
この男、金重財閥の
会長の金重です！

何だ貴様！
どうやって入ってきた！？



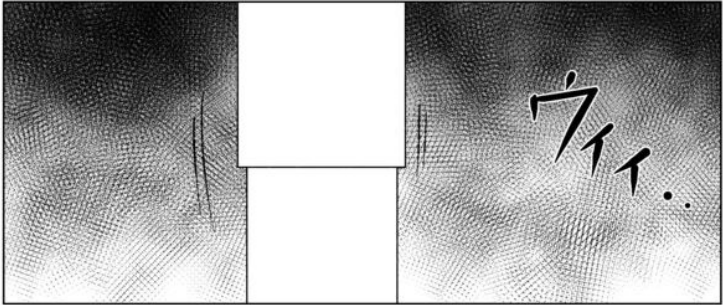
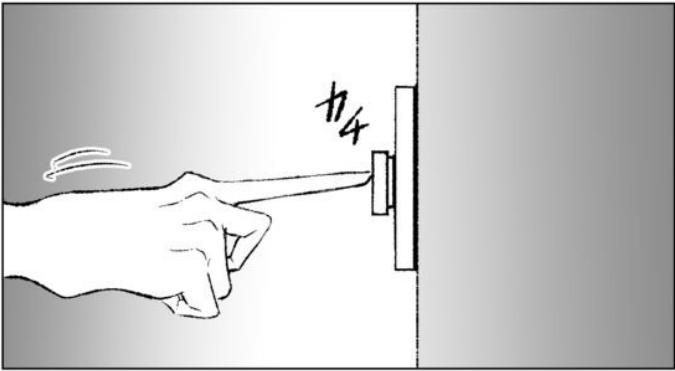
エマ！

まさか会長自身が
この場にいるなんて…！



やはり怪人に
加担していたのですね
それにしても…







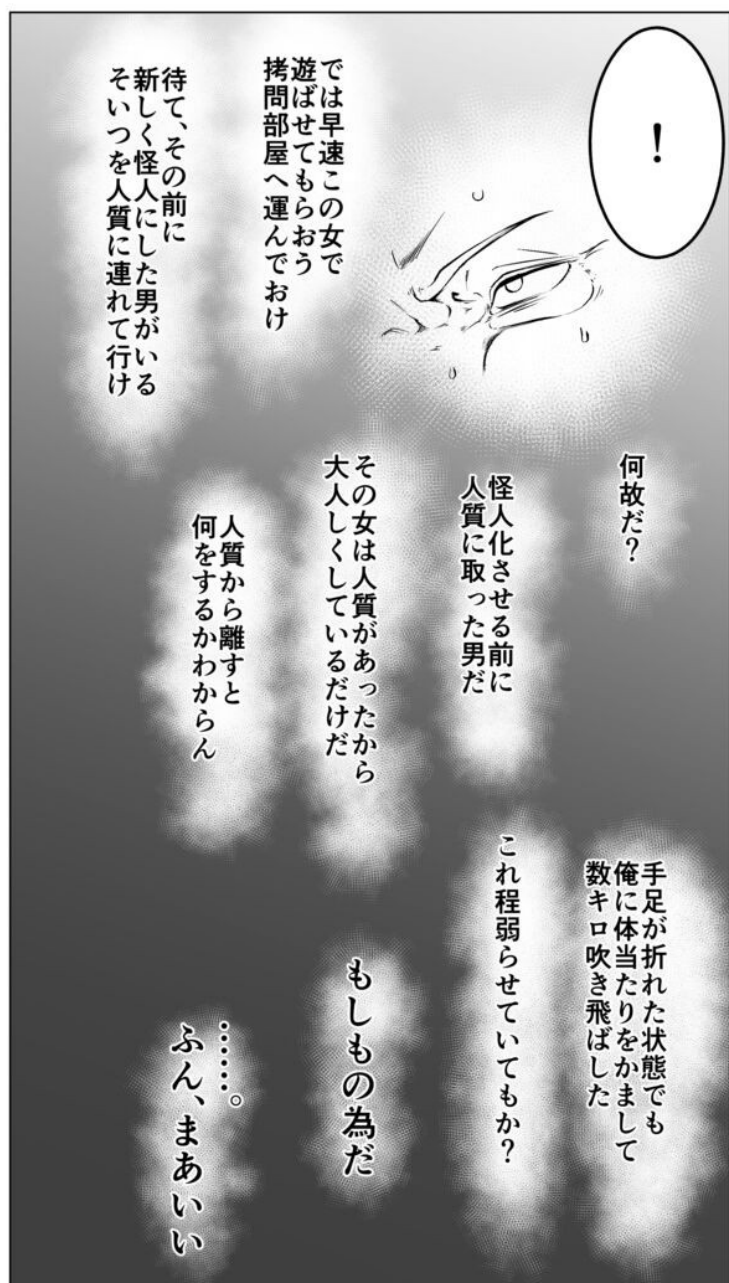
あれは…

！

隊長！



私達がなんの情報も
無しにここに来たと
思っているの？
そんな言い訳が
通ると…



！

では早速この女で
遊ばせてもらおう
拷問部屋へ運んでおけ

待て、その前に
新しく怪人にした男がいる
そいつを人質に連れて行け

何故だ？

怪人化させる前に
人質に取った男だ

その女は人質があったから
大人しくしているだけだ

人質から離すと
何をするかわからん

手足が折れた状態でも
俺に体当たりをかまして
数キロ吹き飛ばした

これ程弱らせていてもか？

もしもの為だ

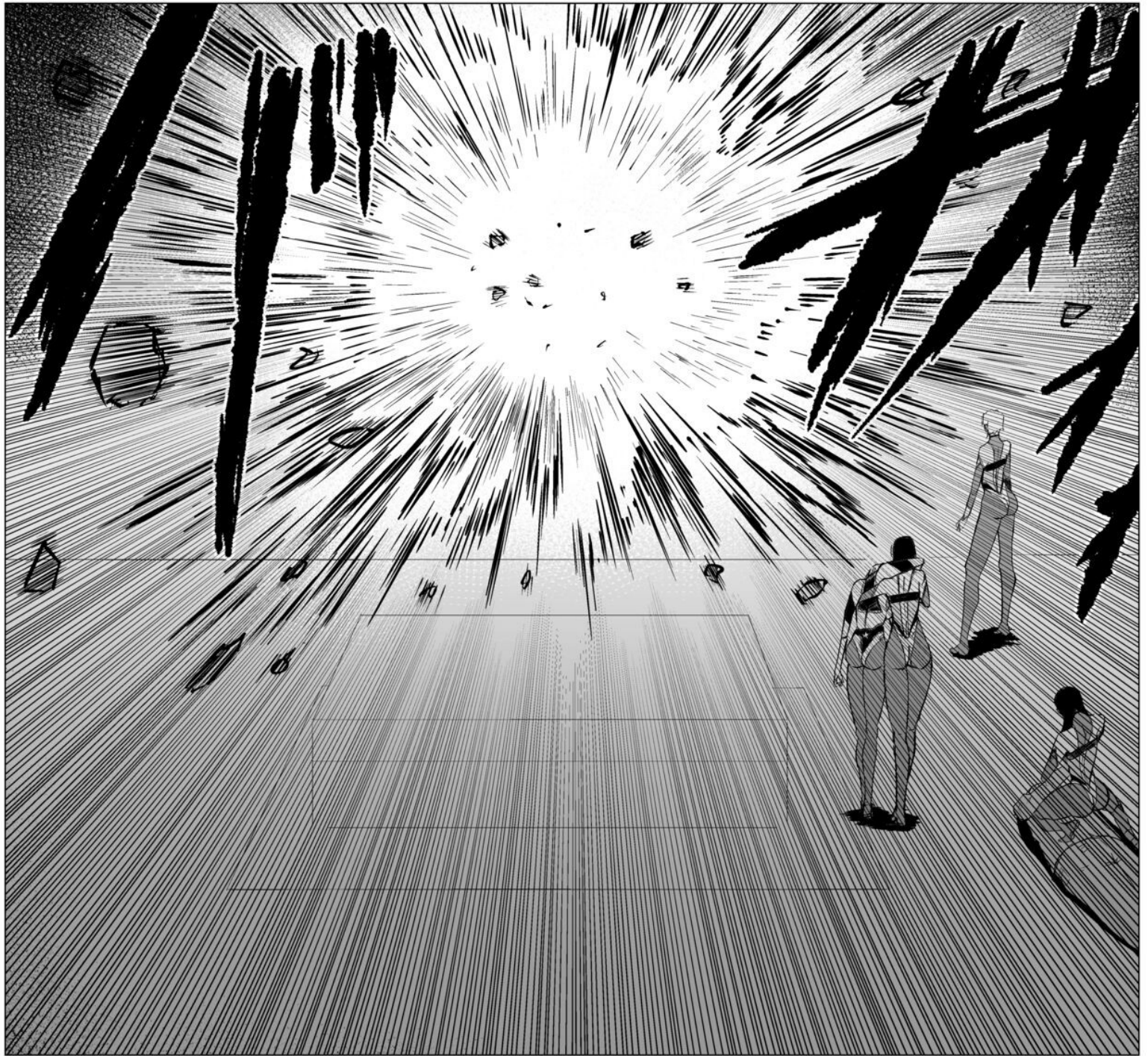
……。ふん、まあいい

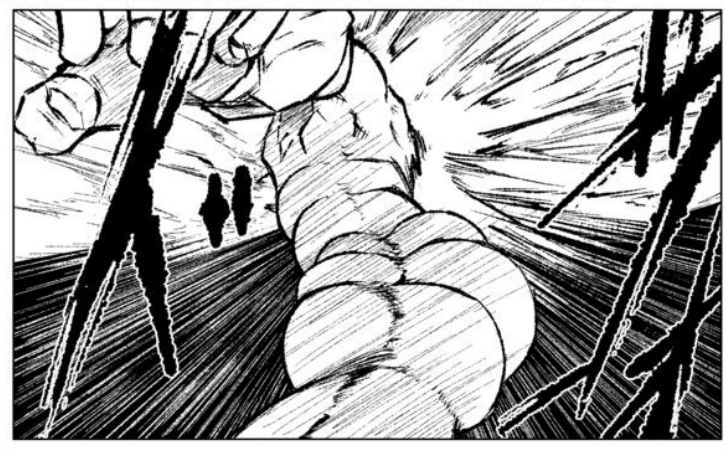


あそこにいるのは怪人？

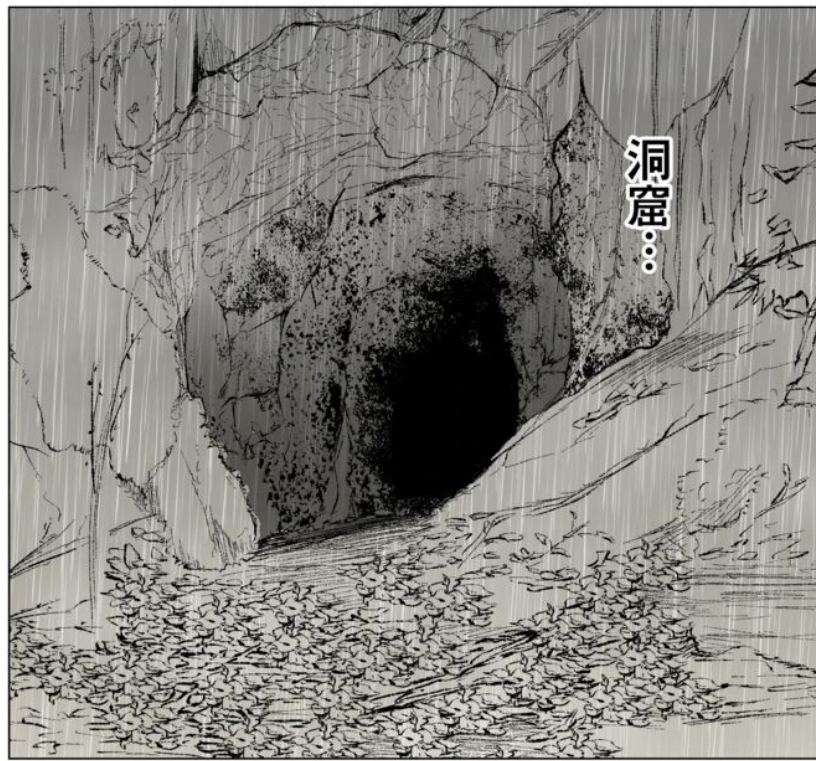
何故拘束されているの？











洞窟…



雨が降ってるのは都合…
移動の痕跡を消してくれる…



本部に連絡がつかない…
妨害電波？
くそっ！
エマを回収してもらえない



エマ、ごめんなさい
ここで少し待ってて…



頭痛も引いてきた
そろそろ転移も出来る

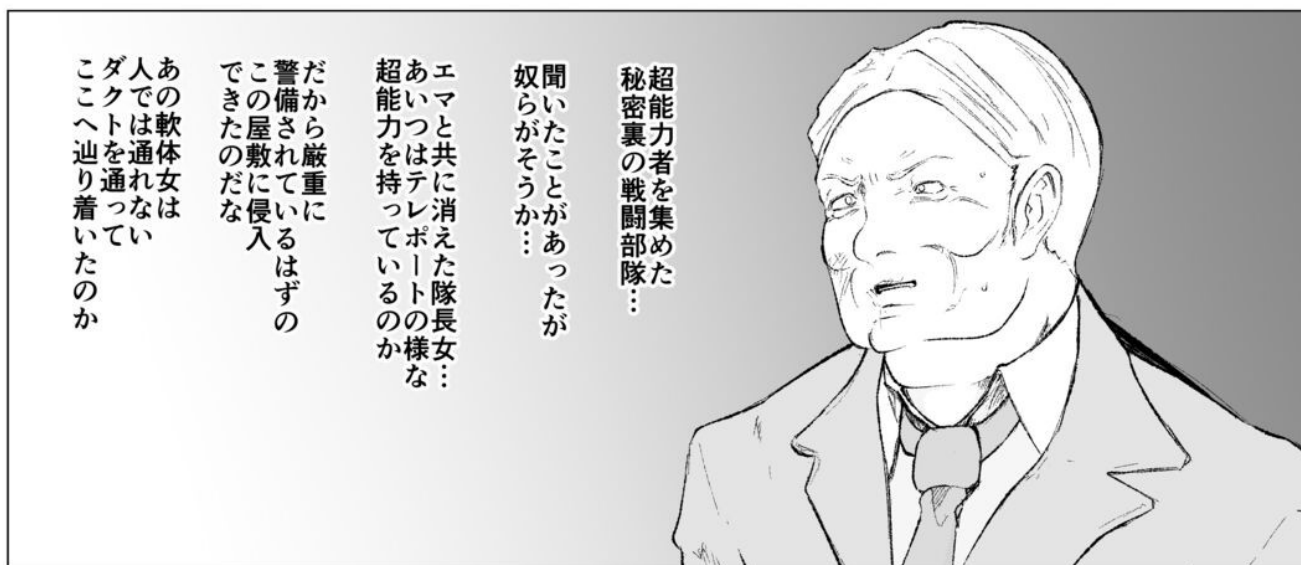
とにかく
早く戻らないと…
屋敷の方角は…



なんて力なのっ!!!

私達の能力が
通じないっ!

勝ち目が無いっ!!!
でもどうにか
あの会長だけでも
連行しなければ...



超能力者を集めた
秘密裏の戦闘部隊…

聞いたことがあったが
奴らがそうか…

エマと共に消えた隊長女…
あいつはテレポルトの様な
超能力を持っているのか

だから嚴重に
警備されているはずの
この屋敷に侵入
できたのだな

あの軟体女は
人では通れない
ダクトを通って
ここへ辿り着いたのか



奴等が怪人に気を取られている間に
警備の人間に侵入者が
発生した場合の緊急態勢を
取るよう知らせるスイッチを
押すことは出来た

だが…
エマと隊長女を
逃してしまった

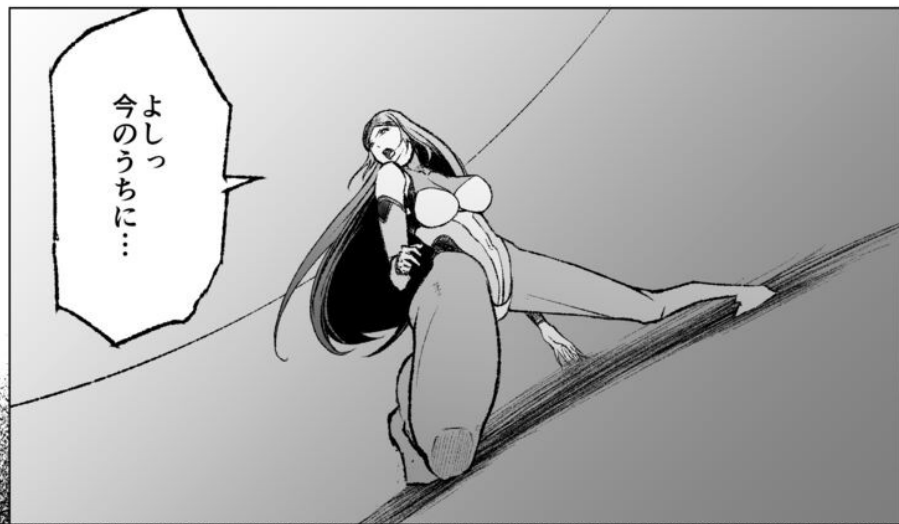
今度の元凶となつた
怪人の存在も知られて
しまった…

これでは
残つた連中を
片付けたとしても
どのみちワシは世界中から
追われる身になるわけだ…

裏の支配者として
君臨するはずの
ワシの野望が…

おのれ…
おのれえ……





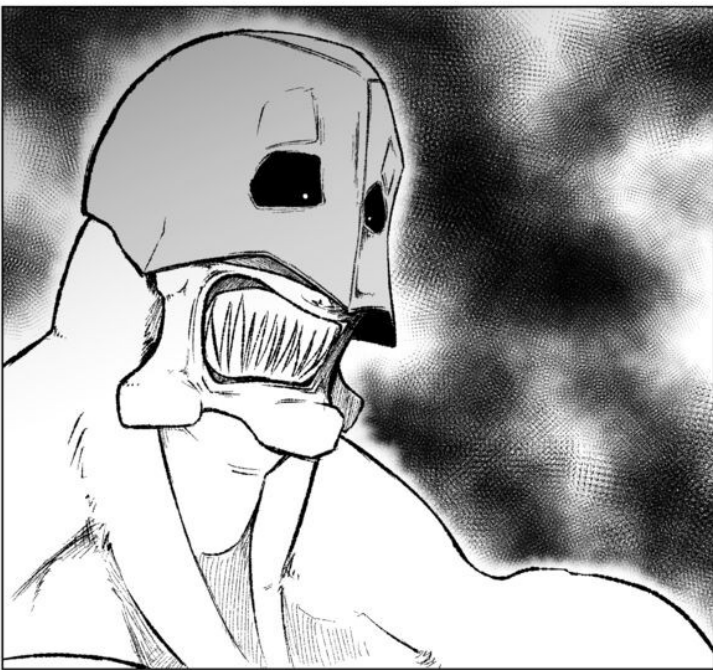
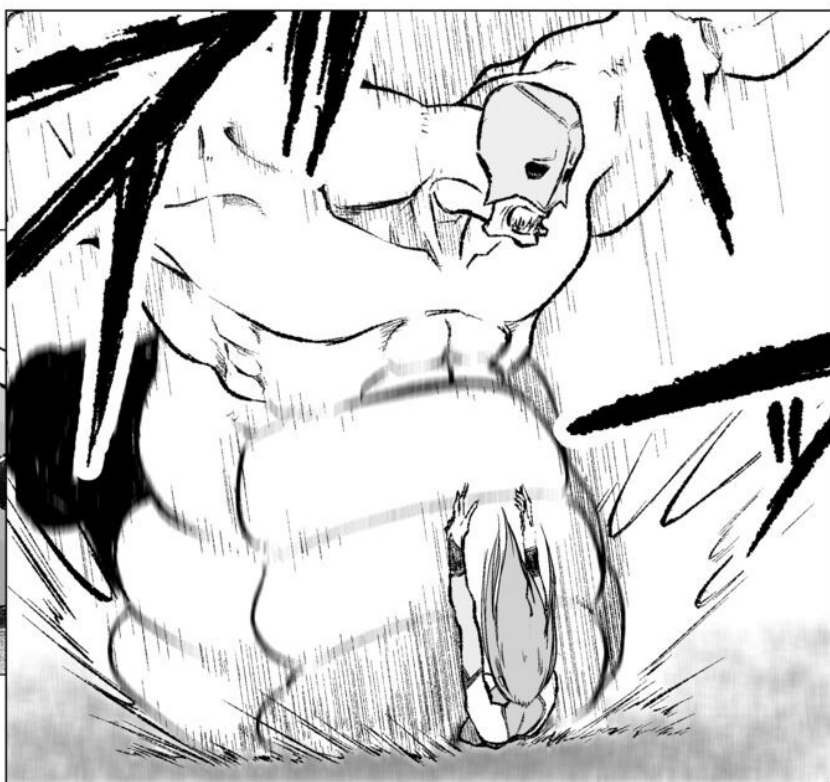




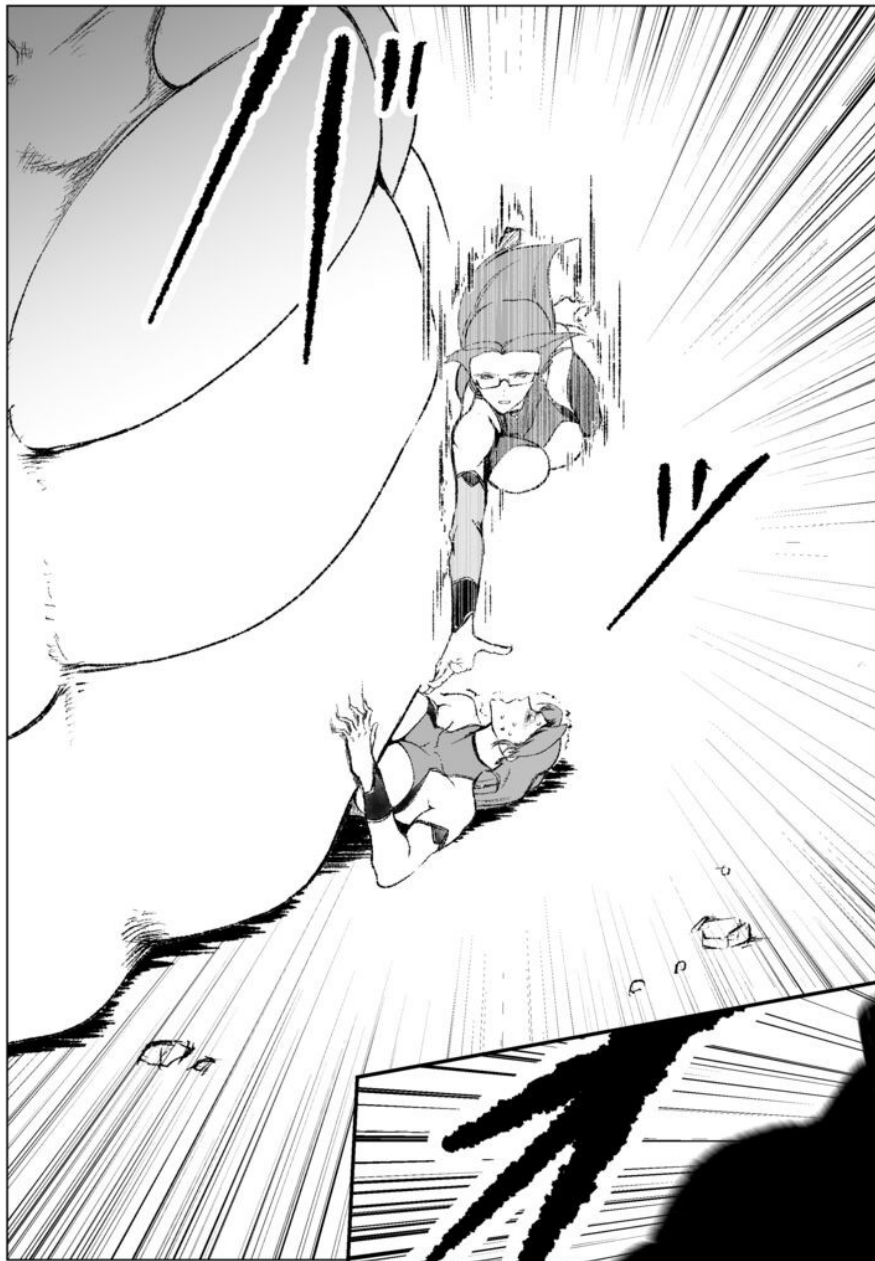
チナツさんっ!!!



ごげ
ほっ...
!!!



あっ...
うああああっ—
!!!



貴様ら政府の大に
ワシの秘密を
暴かれたからには
もはや今まで通り外に
出る事は叶わなくなった

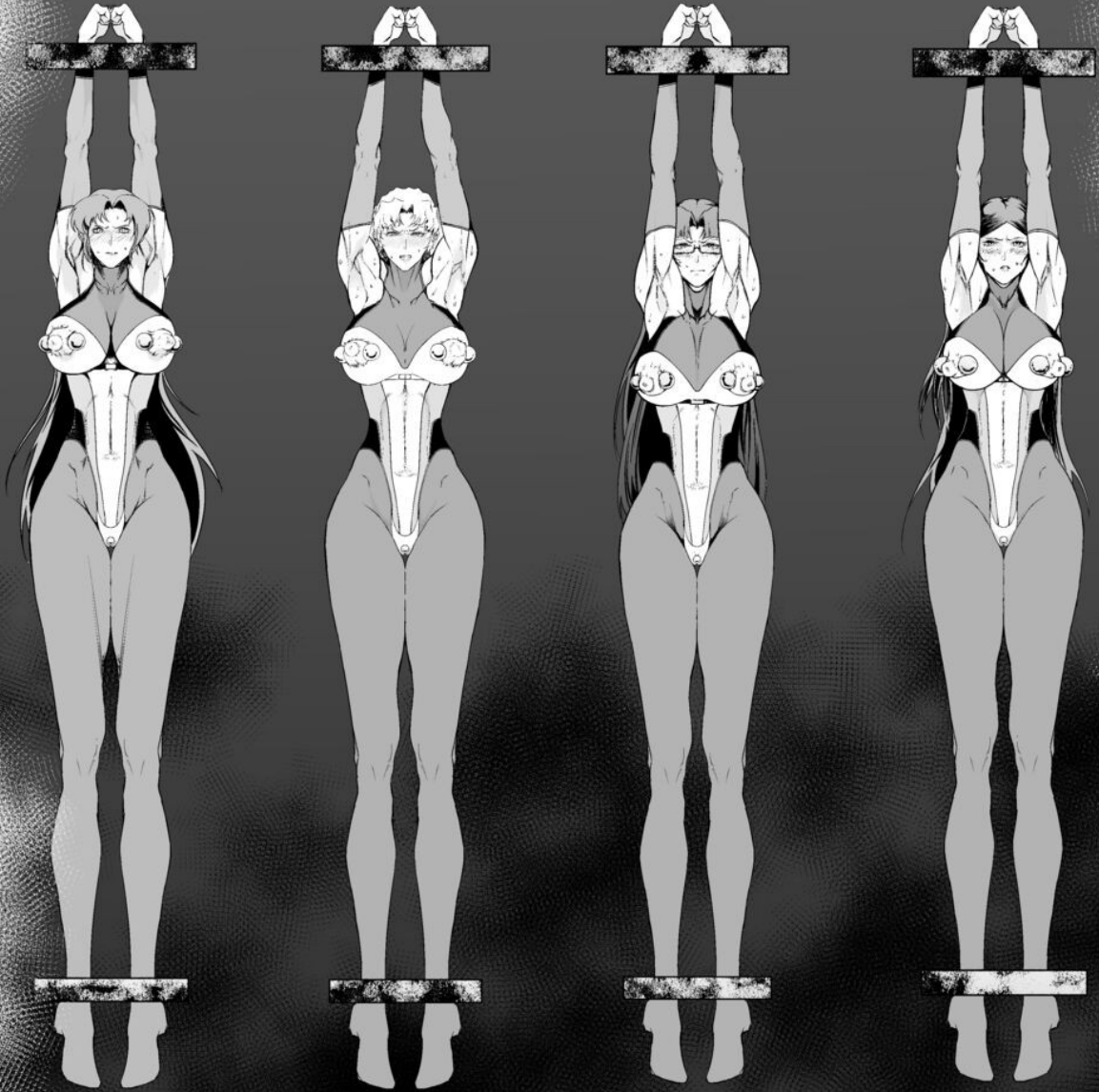
こうなっては
もうここに籠城して
怪人の武力によって
生きる以外にない

ワシはもはや人間と偽るより
怪人として生きる事を選
ぶしかなくなったのだ



償わせてやるぞ…

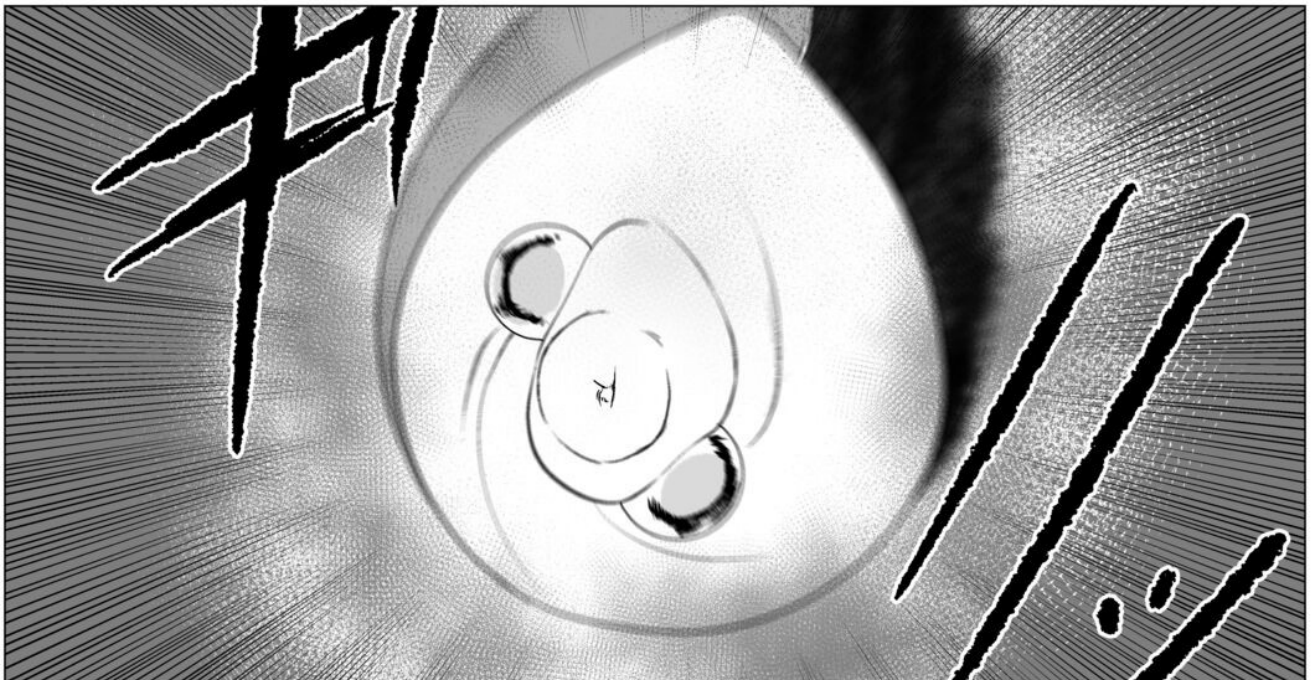
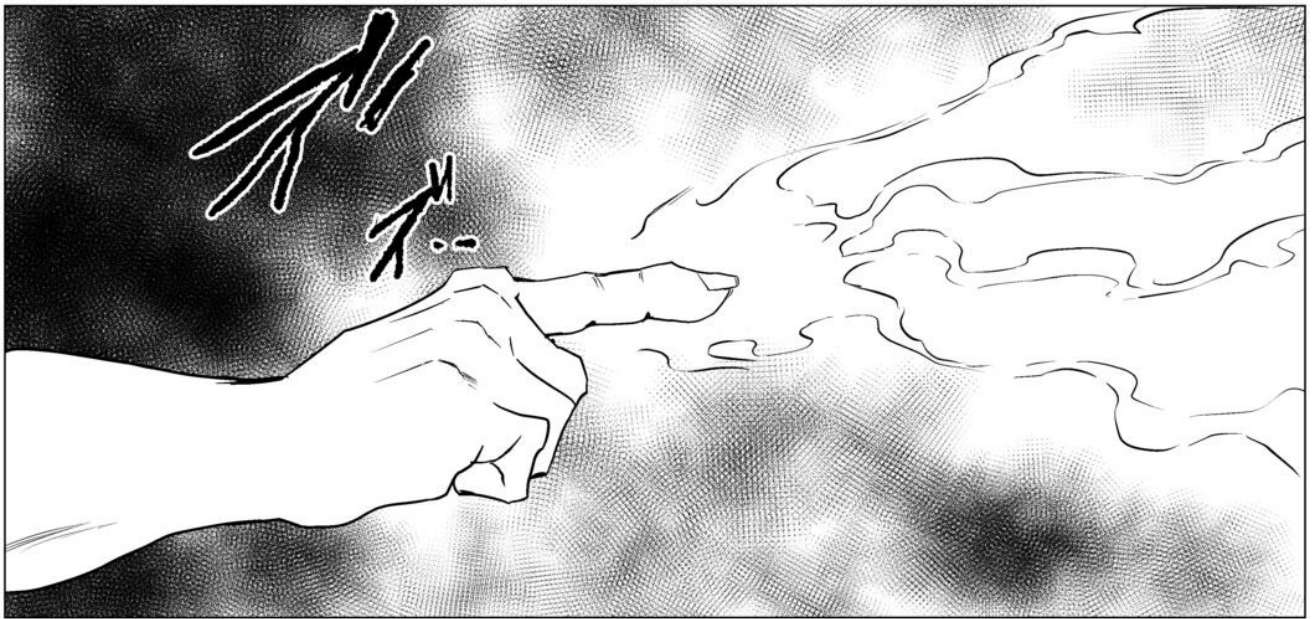
牝犬ども…



このワシの野望の
邪魔をした罪をな

そのピアスには超能力を
封じる力もあると聞いた

お前達はもう
ここから逃げられんぞ





メスの声が
部屋中に響くわ

浅ましい女どもめ

みつともなく
よがりおって

ほれ
下のピアスにも
念力を与えてやろう



うるさい女だ
そんなに気持ち
いいのか？

隊長としての
威厳はどうした？

だらしない
牝声で喘ぎおって

そっほっ

おっ

はぁ

隊員の前でそんな姿を
晒して恥ずかしくは
ないのか？

この牝犬めが…



素性を調べ上げ
家族諸共償わせる

貴様らの大切に
している人間も
必ず殺す







罪の重さを
思い知れ

牝犬共め